

(別記様式4)

財務諸表チェックリスト

項目	指標等	数式	数値			今期数値のチェック		変動異常 のチェック	
			前々期	前期	今期	要注意の目安	チェック		
貸借 対照表	資産合計	E							
	負債合計	I							
	流動比率	C/G				100%以下			
	自己資本 比率	J/E				20～30% 以下			
	固定比率	D/J				200%以上			
	固定長期 適合率	D/(H+J)				100%以上			
	注記事項に異常値はないか						異常値有り		
損益 計算書	売上高	K							
	営業利益	M				マイナス			
	経常利益	N				Mプラスかつ Nマイナス			
	売上高経常利 益率	N/K				0.5%未満			
	注記事項に異常値はないか						異常値有り		
その他 指標	総資本経常利 益率	N/E				漸減傾向			
	手許流動性	A/(K/12)				1.5以下			
	売上債権 回転期間 (ア)	B/(K/12)				ア>イ			
	仕入債務 回転期間 (イ)	F/(L/12)							
監査 報告書	適正な会計手続と報告されているか						問題有り		
	偶発債務・簿外債務等の存在が指摘されていないか						指摘有り		
	事業の存続にかかわる異常事項が指摘されていないか						指摘有り		
キャッシュ フロー 計算書 (数値欄 には、 「+」か 「-」か のみを 記入)	営業キャッ シュフロー	O				Oマイナス			
	投資キャッ シュフロー	P				Oマイナスかつ Pプラスかつ Qマイナスかつ Rマイナス			
	財務キャッ シュフロー	Q				Qプラス			
	現預金増減額	R							
	注記事項に異常値はないか						異常値有り		

※1 要注意の目安に該当する場合及び期ごとの変動が大きい場合にチェック(✓)を付ける。異常値や異常変動がある、チェックが付いた項目が多い等の場合は、県顧問公認会計士等に相談し詳細を分析した上で、指定管理者に内容及び理由並びに財務状況を確認すること。

※2 数式のアルファベットは、次ページ<参考>の各財務諸表の項目の符号である。

※3 必要に応じて、独立行政法人中小企業基盤整備機構「経営自己診断システム」の診断結果も活用する。

ホームページアドレス (http://k-sindan.smrj.go.jp/crd/servelet/diagnosis.CRD_0100)